

市議選・県議選に全力

あなたの声を市政・県政に届けます



吉野まさよし 党支部役員

- ・1973年 千葉県柏市生まれ 41歳
- ・流山市松ヶ丘在住
- ・過去に(株)流鉄へ勤務(保線係員)
- ・労働組合役員を歴任(書記長)
- ・戦争をさせない1000人委員会・流山
- ・松戸地区労働組合会議
- ・なのはなユニオン
- ・社民党流山支部国民運動部長



阿部はるまさ 前流山市議

- ・1954年 愛媛県生まれ 流山市在住
- ・1980年 障がい者運動に参加
- ・1985年 川口委託ユニオン副委員長
- ・2011年4月～14年12月 流山市議:総務・教育福祉・放射能対策・広報広聴委員会等
- ・現在 社民党流山支部幹事長/県連合国民運動委員長/戦争をさせない1000人委員会・流山事務局/交通安全指導員/防災士



小宮清子 千葉県議会議員

- ・1951年 東京都豊島区生まれ
- ・1991年 流山市議会議員初当選
- ・2011年 千葉県議会議員4期目当選
- ・現在 社民党千葉県連合代表
流山地域で生きる会(どのような障がいがあっても地域で生きることを目指す)会員
NPO法人自立生活センターK2会員
憲法9条を世界へ未来へ世話人

高校生の時から社会運動に参加、と書く
と政治一筋のイメージ。しかし、中学までは美術室で石膏デッサンや油絵に没頭し漫画も書くアート系。小中学と続けて新聞配達で心身を鍛える多忙な少年でした。

あの時
代、社会運動に参加
加した高校生はめずらしくありませんでした。みんな、当時の日本社会を覆っていた、ベトナム戦争や公害や様々な差別や貧困など、大国の横暴や高度成長のひずみに心を痛めていたのです。

開発のひずみと格差解消に全力

すぐに、社会の矛盾の根っこは、働く人々が押さえつけられ、搾り取られている仕組みにあることに気づかされました。それ以降、働く者が置かれている状態の改善、社会的弱者と呼ばれる人々の生活と権利を守る活動に取り組んできました。

労働現場に身を置き、活動を続けて40年以上。この生き方は、変わりようがないようです。沿線開発で賑わう街にはすっかりした手網が必要。取り残されがちな地域、開発がもたらすひずみの解決に全力をあげます。

流山市は、TX開通に伴う大開発の効果等で人口は17万人に達し、TX開業の2005年から2万人増。年齢別で見ると、他の東葛地域と比べても若者の多い街です。とはいえ、TX開通前後大規模に開発された地域以外には深刻な高齢化が進み、「高齢で独り身だから生活が大変」「私も高齢だけど、親の面倒を見なきゃいけないので生活が苦しい」等の厳しい現状を伝える声を聞きました。

また、それ以外の地域では別の問題が発生

市民の声に耳傾け住みよい街に

流山市は、「この地域になぜか消防署が無いので不安」「今後、児童が増え続けると小学校が足りなくなるのでは?」「自治会が無いけど今後どうなるんだろう?」といった声を聞きます。

この様な状況を踏まえ、子育てや介護等、公共サービスの地域格差を是正します。流山市は住みよい街です。乱開発で減ったとはいえ、まだ自然が残っています。自然豊かな流山を更に住みよいまちにするため、吉野まさよしはみなさんと共に歩みます。

4期16年「福祉県政千葉実現」をめざし活動してきました。ひとくちで福祉と言っても多くの課題があります。大事なことは、だれもが人間らしく生き抜くことが出来る社会にすることです。

老々介
護、パート
の仕事の
掛け持ちでも生活が出来ないワーキングプア、親の経済力による子どもの教育格差などで、苦しい生活やつらい思いをせざるを得ない人々の小さな声、声なき声までしっかり受けとめ、県政に届けて、一歩でも二

福祉県政千葉実現 声なき声を受けとめて

へ東京
くため
に通勤し、千葉県民は「納税県民」と言われながら、県政を支えてきました。今、そうした人々は地域に戻り不安を抱えています。私はこの現実に向き合っていきます。福祉は人権そのものだと思います。

歩でも千葉県の福祉が前に進むよう、これからも力を注ぎます。
東葛の地域は県政の光が当たらない、と言われ続けてきました。地域の中では高齢者が急増しています。団塊の世代が東京へ

これからは戦争しない国 これからは原発のない国 人間らしく働き人間らしく暮らせる政治を

今年(2015年)は戦後70年。戦争を再び繰り返さないという深い反省が平和憲法を生み、永年、平和を支えました。しかし、何が何でも日本を再び戦争が出来る国に引き戻そうと、安倍首相は憲法改悪まで公言。

集団的自衛権が行使されれば、自衛隊が武器を持って紛争地に行き、若者が命を落とす事も予想されます。国民の命を守るべき政治が、真逆に進んでいます。70年続いた平和は当たり前ではなく、守るための努力をしてきた結果です。これからは戦争しない国として、未来を担う子どもたちに引き継いでいくことこそ政治の重要な役割です。

なぜ原発は増え続けたのでしょうか。日本は地震国、火山



国。原発をつくるのに不向きな国土に54基の原発がつくられました。安全神話で国民を騙してきた結果です。

原発が事故を起こせば甚大な被害がいつまで続くか分かりません。被災者は故郷も家族も仕事も失い、人生を奪われました。その責任も取らないまま、原発再稼働への動きが強まっています。原発の無い社会をつくることは、政治の大きな役割です。

非正規労働者は2千万人を超え、さらに増え続けています。企業にとっては、低賃金、無権利、使い勝手が良い労働力。働いても働いても、パートを2つ3つ掛け持ちしても年収200万円以下のワーキングプアは1160万人。超長時間労働を押しつけるブラック企業、そして広がる一方の格差と貧困。

人は働いて生活の糧を得、人生の充実を成します。今や糧を得るにも賃金は低く、人生の充実を成すにも、身体も心も疲れ果てている現実があります。

安倍政権の労働者切り捨て策は、国の将来をますます大きな危機に向かわせるものです。

千葉県の自立と 県民福祉の向上を

日本全体が人口減少、少子高齢化に突き進む中、千葉県も例外ではありません。高齢者の増加率は埼玉県に次いで全国道府県中2位。いかに高齢化のスピードが速いか、街を歩くとよく分かります。介護事業所のデ

ィサイビスのお迎えの車、あるいは訪問介護のヘルパーさんたちの車が行き交っています。介護保険制度は今や国民の間

ますが、左記の表の通り都道府県中46位、ワースト2。これが

65歳以上人口10万人に対する施設定員数

平成24年10月1日現在		平成25年10月1日現在	
都道府県名	定員数	都道府県名	定員数
47位 愛知県	1,328人	47位 愛知県	1,326人
46位 千葉県	1,392人	46位 千葉県	1,396人
45位 東京都	1,408人	45位 大阪府	1,412人
44位 大阪府	1,443人	44位 東京都	1,417人
43位 埼玉県	1,483人	43位 広島県	1,533人
全国	1,653人	全国	1,647人

が千葉県の現状です。福島第1原子力発電所が爆発事故を起こしてからまもなく4年。千葉県北西部、そして流山市は放射能汚染ホットスポットとなつてしまい、クリーンセンターから出る焼却灰は放射能の指摘廃棄物(8千ベクレル/kg)として、今、下花輪のクリーンセンター内で一時保管されています。地元住民は、ここが最終処分場となつてしまおうのではないかと危惧しています。原発事故を再び起こさせないためには、原発をなくすしかありません。

しかし森田知事は、国には逆らわない、ものを言わない自治体首長。今日、地方分権が叫ばれています。中央集権主義から地方自治重視へと変わるには自治体が強力に行動しなければなりません。森田知事のように



に、「国の言うとおりに」「国の動きを注視して」と言うだけでは、千葉県の自立・地方自治は進みません。

流山を福祉・環境・子育ての先進都市に



流山市はTX沿線開発で新しい大型店やマンション・戸建て、子育て世代の人口が増えています。他方、沿線から離れた古くからの地域は、市の施策の

カヤの外におかれがちです。それを端的に示すのが、おたかの森駅近くで4月開校予定の超豪華な小中併設校と、既存の古い学校との間の著しい格差。市議会はこれは放置できないとして格差是正の決議を市当局に突きつけました。しかし大前提となる校舎・設備・教育環境面の隔たりの著しきは解消が困難。引き続き強力な既存校対策が求められています。

子育て世代急増にともなつて、保育の保障が急務です。流山市は国が進める保育サービスの商品化の流れに迎合しますが、これでは待機児の解消もム

り。待機児の解消、病児・病後児、障がい児、多様な家庭事情のニーズに全力で応える必要があります。放射能汚染ホットスポットとなつた流山市では、子どもを守るための健康調査は急務です。流山市では高齢化も進展。特養の待機者が500人を超える現状は放置できません。在宅介護の充実も必要ですが、「介護は家族責任」の復古は不可能。「無届け介護ハウス」などに緊急避難せざるを得ないのは政治の貧困の結果です。多額の資産を持たなくても利用できる、特養などの施設介護がますます重要となつていきます。



流山市を元気にするには、TX沿線に大型店を誘致したりマンションを建設したりする旧来の開発手法だけでなく、地場産業や農業にも力を入れ、何よ

りも医療・福祉・教育など、への投資こそ重要で。地域活性化のテコとして、公共サービスの民間事業者への委託は、地元企業への優先発注や働く人々への配慮などを求める「公契約条例」を定めて行うことを社民党流山支部は要求。要綱での規制を実現しましたが、引き続き条例化を求めます。